

「AI 搭載自律型農業ロボット『シンロボ』 2026 年公開デモ」を長野県御代田町で開催

株式会社 SYN-ROBOTICS（本社：長野県御代田町、代表取締役 COO：柳本 友幸）は、露地栽培の畑作向け、畑に常駐する AI 農業ロボットを開発する企業です。当社は 2026 年 9 月 26 日（土）、長野県北佐久郡御代田町において、開発中の畑常駐型ロボットの実機デモンストレーションイベント「AI 搭載自律型農業ロボット『シンロボ』 2026 年公開デモ」を開催します。本イベントでは、マルチシートの株元に生える雑草を精密に除去する自律作業と、積み下ろし作業等を実際の圃場でご覧いただき、技術内容のご説明、農業生産者からのコメント発表を行います。

		
レタスのマルチシート圃場 水抜き穴から生える雑草	2026 年実証機（イメージ）	株式会社 SYN-ROBOTICS ロゴ

■ 開催概要

名称	AI 搭載自律型農業ロボット「シンロボ」2026 年公開デモ
開催日	2026 年 9 月 26 日（土） 10:30 ～ 11:30 ※予備日：9 月 27 日（日）
会場	長野県北佐久郡御代田町 ※集合場所・会場の詳細等はお申込みいただいた方に個別にご案内します
参加形式	事前登録制（当日のご参加も歓迎します） 参加費無料
お申込	会場準備と人数把握のためお申込をお願いしています。 https://tinyurl.com/4jtpmuyz
順延の連絡	開催可否は前日 18 時までに、お申し込み時のご連絡先へお知らせします

■ プログラム（予定）

1. 自律走行と精密除草の実演	4. 軽トラックへの積み下ろし実演
2. 畝外部での自律転回	5. 技術内容のご説明
3. 稼働結果のダッシュボードでの表示	6. 農業生産者からの期待

※ プログラムの内容・順序は変更となる場合があります。

■ 開催の背景

露地栽培の畑作には、二種類の課題があると考えています。ひとつは「やりきれないこと」。株元の初期除草は収量を左右する作業でありながら、繁忙期に手が回らないまま生育期を迎えてしまうと収量減少につながってしまいます。もうひとつは「わかっていないこと」。雑草をすべて除くことが本当に最適なのか、より投入資源の少ない農法はないのか。こうした問いは、一人の生産者が生涯に試せる回数が限られるため、検証が進みません。

当社は、この二つを一体で解こうとしています。畑に常駐するロボットが人手では続けられない作業を担い、その過程で取得される圃場データを AI が分析することで、これまで検証できなかった農法の探索を可能にします。作業とデータ取得と分析が循環する構造そのものが、当社の開発方針です。2025 年 10 月に御代田町のレタス圃場で公開試験を実施し、2026 年は同町でデータ取得の実証を進めています。本イベントは、ロボットの稼働を実際の圃場でご確認いただく機会として開催いたします。

■ ご来場にあたっての注意事項／取材のお申し込み

会場は実際の圃場です。見学にあたっては 不整地の畑を歩いていただく場面 があり、土や泥で靴・衣類が汚れる可能性 がございます。汚れてもよい服装と、歩きやすく滑りにくい靴（長靴があると安心です）でお越しください。ヒールのある靴・サンダルはお控えください。

取材をご希望の報道関係者様は、お申込登録フォームよりご登録の際、「その他ご連絡事項」欄にその旨をご記載ください。

■ 会社概要		■ これまでの開発状況	
会社名	株式会社 SYN-ROBOTICS	2019 年 サステナジー株式会社主導で開発を開始	
代表者	代表取締役 柳本 友幸	2020 年 宮城県内の太陽光発電所での実験（試作初号機）	
所在地	長野県北佐久郡御代田町大字草越 1207-23	2025 年 10 月 御代田町のレタス圃場にて公開試験	
事業内容	畑常駐型 AI 農業ロボットの研究開発・製造・販売	2026 年 4 月 会社設立に伴う初回の資金調達を完了	
公式サイト	https://synrobo.ai	■ お問い合わせ	
		広報担当 杉浦 メール：pr@synrobo.ai	